

2019年秋 'グループわ' 北区会親睦バスツアー

## 「丹波竜化石工房ちーたんの館」を訪ねて

日 時 令和元年11月13日(水)

### 行 程

神鉄谷上駅 08:00 発⇒しあわせの村(第3駐車場) 08:30 発⇒しあわせの村 IC⇒(北神線・中国道)⇒滝野社 IC⇒丹波竜化石工房ちーたんの館(見学(10:00~11:30))⇒三友楼(昼食 12:10~13:10)⇒西山酒造場(14:00~14:50)⇒道の駅丹波おばあちゃんの里(買物 15:20~15:50)⇒春日 IC⇒(舞鶴若狭道・中国道)⇒神戸三田 IC⇒めんたいパーク神戸三田(見学 16:30~17:00)⇒長尾 IC⇒(六甲北有料・北神戸線)⇒しあわせの村 IC⇒しあわせの村 第3駐車場 17:30 頃⇒神鉄谷上駅(18:00 頃)

立冬が過ぎたにもかかわらず朝から秋晴れの天気の下で'グループわ'北区会員の33名が参加して親睦バスツアーを実施した。

集合場所である神鉄谷上駅、しあわせの村を出発して最初の訪問先丹波竜化石工房ちーたんの館には9:45に到着し、その後の工程も順調に進み、神鉄谷上駅には15分ほど早く帰着した。

### [丹波竜化石工房ちーたんの館] (見学)

山南住民センター内1階に2007年12月1日に開設された、丹波竜のクリーニング作業を見学できる施設で、丹波竜の資料なども多数展示されている。特に、第1次発掘調査で産出された化石のレプリカや、篠山層群より産出した恐竜化石を含む泥岩、生痕化石のほか、丹波竜の解説パネルなども展示されおり、2006年8月に丹波竜の第一発見者である村上さんから当時のエピソードなど貴重な説明をいただいた。



ちーたん館の入り口



村上さんの説明を聞く



恐竜ガストニアの一例(レプリカ)



ちーたん館の前で参加者全員の記念写真

## [三友楼] (昼食)

四季折々に実り多き山紫水明の地、奥丹波『柏原(かいばら)』で江戸時代末期の慶応年間に創業し、この地で料亭を営む『味の老舗』である。



三友楼の入り口



昼食の様子



昼食の様子



昼食の様子



昼食の御膳



料亭の傍の大けやき (樹齢千年)

## [西山酒造場] (見学)

私達の地元、丹波は美しい山、美しい川に囲まれた自然豊かな土地で、1849年(嘉永2年)に酒造りを開始した酒造場である。弊蔵の屋号「小鼓」で、主屋は瓦ぶき木造二階建てで、1891年(明治24年)頃の建築のもの。



酒造店の正面入り口



案内嬢の説明を聞く会員



「小鼓」ほか6種類のきき酒をした

## [めんたいパーク神戸三田] (見学)

無料で見学できる明太子工場に直売店、楽しみながら明太子について学べる「めんたいランド」もある。



明太子専門テーマパーク



パークの表玄関



買物をする会員